

平成 30 年度事業計画

平成 29 年度においては、7 月に第 23 回夏季デフリンピック大会（トルコ共和国・サムスン）が開催され、兵庫県ゆかりの選手 4 名が出場し、バレーボール（女子）に出場した 2 名が金メダルを獲得した。さらに、12 月のドバイ 2017 アジアユースパラ競技大会（アラブ首長国連邦・ドバイ）では、兵庫県ゆかりの選手 4 名が金メダル 3 個を含む 5 つのメダルを獲得するなど、兵庫県選手の活躍が光った。

東京 2020 パラリンピック競技大会を目前に控え、兵庫県から一人でも多くの日本代表選手を輩出するため、平成 29 年度から始めた出場候補選手への個人支援である「スーパーアスリート特別強化支援事業」に継続して取り組むとともに、平成 30 年 7 月からの東京パラリンピックフラッグツアーに関係する歓迎イベントやフラッグ巡回展示などを実施し、オール兵庫での気運醸成を図っていく。

また、障害者の参加を前提としたワールドマスターズゲームズ 2021 関西を見据え、県の新たな障害者スポーツ拠点の整備検討に協力するとともに、WMGにおける障害者の受入体制気運醸成を図るため、一般スポーツ団体選手との合同練習会等を実施するとともに、障害者スポーツ種目を拡大するための取り組みを行う。

これらの新規事業に加え、平成 27 年度からの「障害者スポーツ推進プロジェクト」に全力を挙げるとともに、障害者スポーツへの期待の高まりを障害者スポーツの普及啓発、環境整備等を促進するための好機とし、従前からの障害者スポーツ大会の開催、障害者スポーツ団体の育成支援、人材養成等の事業についても積極的に推進していく。

1 障害者スポーツ大会の開催支援

(1) 第 12 回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会の開催

【平成30年度 第12回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会実施競技・日程・会場】

| 日 程 | 競 技 | 対 象 | 会 場 | |
|---------------|----------------|-------|--------------|--------|
| 4 月 29 日 (日) | 陸上競技、フライングディスク | 車いす | ユニバー記念競技場 | 神戸市須磨区 |
| 5 月 18 日 (金) | 卓球 | 精 | 県立障害者スポーツ交流館 | 神戸市西区 |
| 5 月 19 日 (土) | 卓球 | 身・知 | 県立障害者スポーツ交流館 | 神戸市西区 |
| 5 月 20 日 (日) | 水泳 | 身・知 | 三木山総合公園屋内プール | 三木市 |
| 5 月 26 日 (土) | 陸上競技 | 身・知 | 県立三木総合防災公園 | 三木市 |
| | フライングディスク | 身・知・精 | 県立三木総合防災公園 | 三木市 |
| | ソフトボール | 知 | 県立三木総合防災公園 | 三木市 |
| | サッカー | 知 | 県立三木総合防災公園 | 三木市 |
| 5 月 27 日 (日) | バスケットボール | 知 | 県立障害者スポーツ交流館 | 神戸市西区 |
| | バレーボール | 知 | 県立障害者スポーツ交流館 | 神戸市西区 |
| | ホウリング | 知 | 神戸六甲ボウル | 神戸市灘区 |
| 6 月 1 日 (金) | サウンドテーブルテニス | 視 | 県立障害者スポーツ交流館 | 神戸市西区 |
| 11 月 16 日 (金) | バレーボール | 精 | グリーンアリーナ神戸 | 神戸市須磨区 |

※ 身…身体障害者、知…知的障害者、精…精神障害者、視…視覚障害者

(2) 第30回全国車いすマラソン大会の開催

| | |
|------|--|
| 開催日 | 平成30年9月30日(日) |
| 開催場所 | 篠山城跡マラソンコース(篠山市) |
| 競技種目 | マラソン、ハーフマラソン |
| 参加資格 | 【正式参加】 身体障害者手帳所持の車いす使用者 【オープン参加】 正式参加者以外で、車いすスポーツ歴があり、無事完走できる力をもつ者 ※ 正式参加、オープン参加ともに、マラソンは16歳以上、ハーフマラソンは13歳以上の者 |
| その他 | 競技役員・ボランティア750名 |

2 全国障害者スポーツ大会等への選手派遣・育成強化

(1) 第18回全国障害者スポーツ大会近畿地区予選会への選手派遣

【派遣を行う近畿地区予選大会(5月末～6月中旬)】

| 競技種目 | 主催 |
|-------------------|----------------------|
| 車椅子バスケットボール(身体) | 近畿車椅子バスケットボール連盟 |
| バスケットボール(知的男子・女子) | 堺市 |
| バレーボール(聴覚男子・女子) | 近畿ろうあ連盟 |
| バレーボール(知的男子・女子) | 兵庫県 |
| バレーボール(精神) | 京都市 |
| グランドソフトボール(視覚) | (社福)日本盲人会連合近畿ブロック協議会 |
| ソフトボール(知的) | 神戸市 |
| サッカー(知的) | 奈良県 |

近畿地区連盟等がない競技は、近畿府県・政令市が輪番型開催

(2) 第18回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」への選手派遣

福井県で開催される第18回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」へ兵庫県選手団を派遣する。

【日程等】

- ・大会期間：平成30年10月13日(土)～15日(月)
- ・派遣期間：平成28年10月12日(金)～16日(火)
- ・開催場所：福井県営公園陸上競技場(福井市)ほか
- ・派遣人数：約170名(予定)選手、コーチ、介護人等

(3) 全国障害者スポーツ大会に向けた選手育成強化

① 全国障害者スポーツ大会派遣選手事前練習会の開催

全国障害者スポーツ大会派遣選手を対象に、競技力の向上を図るため、各競技に精通した指導者を招き技術指導を行う。

内容：陸上、フライングディスク、水泳、卓球、サウンドテーブルテニス

実施日：平成30年8月19日(日)、9月1日(土)、9月8日(土)、9月15日(土)

② 練習会、交流試合の開催支援

全国障害者スポーツ大会の競技種目について、派遣候補選手を中心とした練習会や交流試合の開催支援により、選手及びチームの技術力強化を図る。

(4) 全国車いす駅伝競走大会への選手派遣

京都市で開催される全国車いす駅伝競走大会に兵庫県チームを派遣する。

- ・開催日：平成31年3月
- ・開催場所：京都市西京極陸上競技場付近駅伝コース

3 障害者スポーツ団体の育成支援

(1) 競技団体設立支援事業

全県的な競技人口の拡大を図るため、その競技において県を代表する連盟・協会等の新たな設立に要する費用の一部を助成する。

助成額：上限5万円

(2) 競技種目別県大会等開催支援事業

競技団体の競技力向上や、競技人口の拡大のため、団体が主催する競技大会等の開催を支援する。

対象団体：現行33団体、助成額：上限8万円

(3) 競技種目別全国大会等派遣支援事業

競技団体の競技力向上等を図るため、団体が行う全国大会等(国際大会含む)への選手派遣を支援する。

対象団体：現行33団体、助成額：上限6万円

4 障害者スポーツ人材養成事業

(1) 兵庫県障害者スポーツ指導者養成講習会開催事業

地域における障害者スポーツの振興を担う指導者の養成を行う。

- ・受講資格：県内に居住又は勤務(在学)する18歳以上の者で、障害者スポーツに関心を持ち、障害者スポーツ指導員として各種大会等においてボランティアとして活動する者
- ・日程：実技を含めた3日間講習。
平成31年1月12日(土)、19日(土)、26日(土)
- ・会場：県立障害者スポーツ交流館ほか

(2) フライングディスク養成講習会の開催

フライングディスク指導者を養成するため、兵庫フライングディスク協会と合同で指導者養成講習会を開催する。

5 普及啓発事業

(1) スポーツクラブ 21 ひょうご (SC21 ひょうご) との連携

県内全小学校区に設置されている地域スポーツクラブ「SC21 ひょうご」と連携し、地域での障害者スポーツへの取り組みを促進するため、スポーツクラブの代表者が集う全県サミットにおいて障害者スポーツの体験企画を実施する。

(2) 兵庫県障害者スポーツフェスティバル開催支援事業

障害者スポーツのすそ野の拡大を図り、障害の有無や程度・種類に関係なく、誰もが障害者スポーツを楽しむことができる大会やイベント等の開催を支援する。

助成対象：10 大会、助成額：上限 3 万円

(3) 兵庫県障害者スポーツ功労賞・優秀選手賞、理事長賞の贈呈

障害者スポーツの振興に功労のあった者又は団体、その他広く障害者の模範となった者又は団体を表彰してその功績を顕彰する。

(4) 国際大会出場選手への激励金贈呈

障害者スポーツの振興と県民に対する理解促進を図るため、国際大会に出場する選手の表敬訪問及び激励金の贈呈を実施する。

- ・ジャカルタ 2018 アジアパラ競技大会 (平成 30 年 10 月 6 日 (土)～13 日 (土) インドネシア)
- ・第 19 回冬季デフリンピック競技大会 2018 (平成 31 年) イタリア・トリノ

(5) スポーツ協会広報誌発行

当協会が実施する事業について広く情報提供を行い、県民の障害者スポーツへの関心を高めるために、当協会が実施する大会等の情報を中心に障害者スポーツ関連の話題を掲載した広報誌を発行し、各都道府県、県内各市町、関係団体、障害者スポーツ指導員等に配布する。(兵庫県障害者スポーツ協会だより 年 2 回発行)

6 2020 年に向けた障害者スポーツ推進プロジェクト

2020 年に開催される東京パラリンピックに向け、障害者スポーツの普及啓発、スポーツを通じた障害のある方の社会参加を促進する。

(1) ワールドマスターズ・パラリンピック推進事業

① (拡) 参加型イベントの開催

○しあわせの村スポーツフェスティバル (神戸市との共同開催)

- ・開催日：平成 30 年 11 月 4 日 (日)
- ・開催場所：しあわせの村全面 (神戸市北区)

○(新) 国際義肢装具協会 (ISPO) 世界大会 2019 イベント

- ・下肢切断者向けランニングクリニック
- ・アンプティ (切断者) サッカー交流大会

② (新) 一般スポーツ団体との参画と交流

ワールドマスターズにおける障害者の受入体制気運醸成を図るため、一般スポーツ競技団体選手と障害者アスリートの合同練習会・記録会等を実施する。

③ 障害者スポーツ応援協定団体との連携事業

- ・ 応援協定団体と競技団体との合同研修会
- ・ 交流イベントや合同練習会の開催

④ (新) 障害者スポーツ種目の拡大

ワールドマスターズが開催される機会に、障害者の参加が可能なスポーツ種目の拡大をめざす。

- ・ 競技デモンストレーション・審判研修会の実施

⑤ 障害者アスリートへの支援

- ・ 記録会・競技会等の開催（陸上、水泳、卓球等）
- ・ 障害者アスリートマルチサポート事業

専門指導者による指導のほか、栄養や医療などの専門家による公開講座等を実施する。

⑥ 障害者スポーツ出前講座の実施（小中学校・スポーツクラブ 21 等）

(2) (拡) 東京パラリンピック準備事業

① スーパーアスリート特別強化支援事業

東京パラリンピック出場候補選手に対し、競技用具の購入費、海外遠征費等を支援する。

- ・ 補助対象経費 競技用具の購入費、海外遠征費等
- ・ 補助上限額 150～300 千円

② (新) 東京パラリンピックフラッグツアー

フラッグの巡回にあわせた啓発イベントを実施する。

- ・ 巡回期間 平成 30 年 7 月 26 日～8 月 23 日

③ (新) 県パラリンピック聖火リレー実行委員会の設置

県内ルートを検討、ランナーの公募・選考を行う。

(3) 地域における障害者スポーツ推進拠点整備事業

① バリアフリー化の修繕助成

② 障害者スポーツ推進拠点支援員の設置

競技指導・助言、利用についての各種事務手続きを行い、推進拠点の活用促進を図る。

7 (新) 新たな障害者スポーツ拠点の検討

障害者の参加を前提としたワールドマスターズゲームズ 2021 関西を見据え、県が行う新たな障害者スポーツ拠点の整備検討に協力する。

- ・ 検討委員会（構成員）

学識経験者、パラリンピック出場経験者、福祉のまちづくり研究所、障害者スポーツ協会等

- ・ 検討内容

障害者スポーツ拠点の機能、整備施設の規模、運営方針等

- ・整備場所（予定）

県立総合リハビリテーションセンター（神戸市西区）

8 関係機関との連携

（１）障害者スポーツネットひょうごとの連携

県内の障害者スポーツ関係団体・施設等を構成員とするネットワーク組織である「障害者スポーツネットひょうご」に参画し、協働事業の展開や、情報共有を行う。

（２）ひょうご障害者スポーツ指導者協議会との連携

地域で活動する指導者で構成する「ひょうご障害者スポーツ指導者協議会」のいっそうの活性化を図り、県内障害者スポーツの振興に資するため、指導者協議会との密接な連携協力のもと、各種大会の開催、全国障害者スポーツ大会への選手派遣等を行う。

9 （公財）日本障がい者スポーツ協会受託事業の実施

平成 29 年度については、「初級障がい者スポーツ指導員養成講習会」（委託額 30 万円）、「障害者スポーツ理解促進フェスティバル」（委託額 150 万円）、「地域における障がい者スポーツの振興事業」（委託額 200 万円）を受託したが、平成 30 年度においても、当協会の目的と合致する委託事業については積極的に受託実施する。

10 事務局体制の強化

（１）財政基盤強化のための取組

① 賛助会員の募集

関係団体、協賛実績のある法人、企業、社会奉仕団体等に兵庫県障害者スポーツ協会だより送付の機会等を活用し、広く加入を呼びかける。

② 協賛企業の開拓

兵庫県のじぎくスポーツ大会、全国車いすマラソン大会等の協賛企業の新規開拓を進めるとともに、大会プログラムへの広告掲載を積極的に行い、広告料収入の拡大を目指す。

③ 障害者スポーツ支援自動販売機の設置

飲料販売企業の協力を得て、売上金の一部が当協会に寄附される障害者スポーツ支援自動販売機の設置台数の増加を推進するため、学校・企業等に対して設置協力を依頼する。

（２）事務局体制の強化

障害者スポーツ専門家の配置（２人）